

世界最大級の新聞印刷会社が手掛ける、使って楽しむ新聞紙 TONICHI 4/10・11「文具&手紙マルシェ 2026」に初出店 ～新聞用紙をアップサイクルしたデザイン新聞や紙文具～

世界最大級の新聞印刷会社である東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：西川光昭、以下 TONICHI）は、2026年4月10日（金）・11日（土）に開催される「文具&手紙マルシェ 2026」に初出店します。ステーションリーファンの集うこのイベントで、当社は新聞の手触りや風合いを楽しめるデザイン新聞「つつむ」を販売します。また今回、「つつむ」で作ったポーチも初登場します。



【新聞を“使って”楽しむ！デザイン新聞「つつむ」】

TONICHIは、1拠点に10セットの輪転機を備え90紙以上の新聞媒体、1日最大230万部を印刷している単一工場として世界最大級の新聞印刷会社です。74年間、新聞印刷を担ってきた当社が新聞愛を込めてお送りする「つつむ」。新聞の手触りや柔らかさを感じてもらい、新聞に親しみを持ってもらいたいとの思いから生まれました。グレーがかった新聞用紙はオシャレで落ち着いた雰囲気を演出でき、沢山のデザインの中からラッピングやブックカバー、コラージュの素材としてお楽しみ頂けます。

【コラボレーションポーチ商品初登場】

また、今回は企業・自治体向けアップサイクル監修やイベント企画やワークショップを開催する団体「アンドアップサイクル（代表：加藤恵子）」とコラボレーションし、新聞包装紙「つつむ」を素材に使用したオリジナルポーチを制作し、初めて販売します。「つつむ」の新たな使い方や、楽しみかたを感じて頂けます。アップサイクルによって生まれ変わった、日常で使える新聞紙雑貨をぜひ会場にてご覧ください。

〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

*東日印刷 お問い合わせ で検索ください

【文具&手紙マルシェ 2026】

このイベントでは「手紙をもっと楽しくする文具が大集合！」をテーマに文具メーカーやクリエイターが参加、96社115ブース出展されます。文具と手紙にこだわるファンに向けたイベントで、気に入ったアイテムの直接の販売も可能です。

概要

- 名称：文具&手紙マルシェ 2026
- 会期：2026年4月10日（金）・11日（土）10:00～17:00（最終入場 16:30）
- 会場：東京都立産業貿易センター台東館 4階
（〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-6-5）
- 入場料
 - ・一日満喫チケット 1,000円（税込）〔電子チケット+会場渡し特典〕
 - ・半日チケット（午後） 800円（税込）〔電子チケット+会場渡し特典〕



【アンドアップサイクルとのコラボレーション企画】

アンドアップサイクルは、使い終わった手提げ袋やパッケージなどを素材として、新たな価値を生み出す活動を行っている団体です。当社とは2026年2月に開催されたギフトショーで出会いました。

当社がSDGsパートナー協定を結んでいるハヤシ・アンド・カンパニーとの新聞包装紙事業が「かわさきSDGs大賞2025 最優秀賞」を受賞した記事が「かわさき市政だより」に掲載された事をきっかけに、アンドアップサイクルの皆様が当社ブースに来場。「つつむ」を使ってさまざまな作品を作りたいという声をいただいたことから、本企画が実現しました。

新聞印刷の工程では、どうしても使いきれずに残ってしまう用紙が発生します。本取り組みは、そうした紙をアップサイクルし新たな価値を生み出す、サステナブルな取り組みでもあります。紙の魅力とアップサイクルの発想が融合した特別なアイテムを、ぜひ会場で手に取ってご覧ください。